

### (3) 木の名前を調べよう・名札をつけよう

ネイチャーゲームをしているうちに、知らない木がたくさんあることに気がきました。そこで、木の名前を調べ、せっかく知った木の名前を自分たちだけでなく、全校生や地域の方々に知ってもらえるように5年生全員で木の名札作りをしました。



木の名札作り

## 3 学校林の整備

学校林には草と不法投棄のごみがたくさんあったので、5年生のみんで草刈りなどを行いました。きれいになった後、「小田小学校 学校林」という看板を立てました。

学校林で樹木観察をしました。木の葉の形、大きさなどから自分が気に入った木をスケッチし、木の特徴や形をきちんと観察しました。分からない木は、葉を持ち帰り調べたので、自然への関心が高くなりました。



5年生による学校林の草刈り



看板設置



樹木観察

## 4 おわりに

私たちの住んでいる小田は、漁業の町ですが、季節の移り変わりや自然のすばらしさを山の動植物が教えてくれています。たくさんの人と関わり、森林について学習を深めていくにつれ、海を守るためには山を大切にしなければいけないことを学ぶことができました。秋には、家族や地域の方たちと行う「ふれあい感謝祭」で私たちが学習したことを発表し、みんなに広げていく予定です。

これからも、大切なふるさとの自然を守るために、自分たちにできることを考え、実践していきたいと思っています。

# 森の命はみんなの宝物

香川県 高松市立屋島東小学校

5年 大前 陽・土居 拓史・谷本 夏音・新居 沙輝子

## 1 はじめに

屋島東小学校はその名の通り屋島の東側に位置し、西には屋島の山が迫り、東には屋島湾と八栗の山を望むことができる自然豊かな校区である。また校区には水産試験場や源平・屋島の合戦の史跡があり、総合的な学習も校区内の地名に因んで「だんのうら学習」と名付け、それぞれの学年に応じた地域学習を展開している。

## 2 森林環境学習の取り組み

### (1) 全校生の“わたしの木”

学校の北西に位置する「源平・屋島の森」には全校児童の“わたしの木”が一人ひとりの手で植樹されている。木には自分の名前とその木に対する願いが書かれたプレートがかけられており、年に2～3回、児童・保護者・地域ボランティアが香川森林管理事務所の協力のもと下草刈りをして木の生長を確かめている。



### (2) “遊々の森”を活用した森林学習

平成14年度より四国森林管理局と「遊々の森」協定を結び、屋島国有林約43ヘクタールを「遊々の森ドキドキわくわくコース」と名付けて森林環境教育に活用している。3・4年生の総合的な学習の時間を中心に「森に親しむ」「森の恵みを生活に生かす」「森林のはたらきを学ぶ」「森林を育てる」という視点で、さまざまな体験活動を仕組み、人間と自然の関わり方について地域の方と共に考えていく活動を展開している。

### 森に親しむ

森林学習の先輩である4年生が、3年生を連れて“遊々の森”へ行き、ブランコやハンモックで遊んだり、基地作りやネイチャーゲームを楽しむ。



### 森の恵みを生活に生かす

屋島に自生する植物で、竹とんぼやカズラのかご・リースなどを作る。地域のお年寄りの方を先生に干し柿作りやしいたけ栽培も経験し、地域の自然の豊かさとそれを生かす知恵に触れる。



### 森林のはたらきを学ぶ

“遊々の森”と運動場の土をペットボトルに入れて濾過の様子を観察し、保水性や浄化性等の森林のはたらきを実感として学ぶ。



### 森林を育てる

4年生の秋には、森林学習のまとめとして、森を守る担い手である自分たちでどんぐり銀行で苗木に交換してもらい、“遊々の森”にクヌギの苗木を植樹する。



### (3) 体験と表現の融合

毎年行われる「だんのうら学習発表会」の場が、子ども自身の中で森林学習の総まとめとなる。それらを作り上げる過程で、これまでの学習や活動を振り返りながらこれからの自分と自然との関わり方や生き方を考えるきっかけとなり得たのではないか。



### 3 おわりに

本校は近くに山はあるが、児童が普段の生活の中で森林について学んだり体験することはほとんどない。これからも「遊々の森」やいろいろな森林活動を通して、自分の身近にある自然について知り、大切に守ってほしい。また、「遊々の森」を学び・遊びの場として大切にしていきたい。

# 自然いっぱいの大和田小学校

愛媛県西予市立大和田小学校  
6年 福井 雄仁 5年 柴田 大飛

## 1 はじめに

大和田小学校は、愛媛県西予市の東部に位置し、児童数45名の小さな学校である。豊かな自然と文化に囲まれ、子どもたちは明るくのびのびと活動している。学校のすぐ横を清流肱川が流れ、近くには「希望の滝」と呼ばれている滝や「みんなの森」と呼ばれている学校林があり、四季折々の変化や自然の美しさを感じ取りながら学校生活を送っている。児童は、このような美しい自然に親しんだり、自然を守ったりする活動に取り組んでいる。



## 2 大和田小学校の5つの自慢

### (1) 希望の滝

敷地内に滝がある学校は全国的にも珍しいのではないだろうか。滝の周りは昭和44年度に実施された開校10周年記念事業の一環として公園化され、児童や教職員だけでなく、地域の人々からも親しまれている。大和田小学校といえば「滝のある学校」としてこのあたりでは有名である。この滝は「希望の滝」と呼ばれ、大和田小学校のシンボリック的存在となっている。子どもたちはこの「希望の滝」で、遊んだり、学習したり、奉仕活動を行ったりと有意義に過ごしている。



### (2) みんなの森

本校の南側斜面には「みんなの森」と呼ばれる学校林が広がっている。面積は約2,000㎡でクリ、クヌギ、サクラ、ツツジ、ヤマモモ、モミジ、スギ、ヒノキ等が植えられており、森の木に登ったり、カズラでターザンごっこをしたり、野鳥を観察したり、図工の材料を収集したりと子どもたちの格好の学習の場、遊びの場、体力づくりの場となっている。子どもたちは「みんなの森」での活動を大いに楽しみにしている。



### (3) 清流肱川

本校の北側には肱川が流れている。また、西側は支流の芭蕉田川が流れている。これらの川は、児童たちにとっては格好の遊び場、学びの場となっている。バス釣りをしたり、水質調査、生き物調べなど川と関係した体験学習を行ったりしている。毎年冬には恒例となっているバードウォッチングも実施している。また、夏休みには、愛護班主催の魚つかみ大会も盛大に実施されている。ただし、残念なことに、アユ釣りやバス釣りで有名な本校周辺の川原には、釣り人たちが落としたと思われる弁当殻や空き缶、絡まったテグス糸が落ちていたり、上流から流されてきたゴミが散乱していたりするため、子どもたちは月に1回程度、ゴミ袋を持ってゴミ拾いを行っている。



### (4) 花いっぱい为学校

花壇やプランターで、チューリップやパンジー、サルビア、キク等の栽培をしている。花の種まきや苗植えを行ったあとは、毎日水やりや草引きを行い、きれいな花が咲くのを楽しみにして、子どもたちは主体的に活動している。夏休みにも、当番を決めて、水やりを行っている。年間を通して美しい花が咲き、毎朝元気に登校してくる子どもたちを優しく迎えている。また、今年度も恒例となっている一人暮らしのお年寄り訪問時に、育てた苗の寄せ植えをプレゼントし、お年寄りに大変喜ばれた。



### (5) 素直な子どもたち

大和田の子供たちは豊かな自然と地域の人々に見守られて、元気いっぱいのびのびと成長している。そのため、大和田の子どもたちはとても素直だと評判である。いじめや不登校の問題はほとんどなく、大部分の児童が学校が楽しいと感じている。これからも、周りの自然を守り、親しんでいく活動に力を入れていきたい。そして、緑豊かなふるさと大和田を愛する心を育てていきたい。



## 3 今後の課題

- (1) 児童数の減少による活動への影響
  - ・過疎化に伴う児童数の減少(統合時の10分の1)
  - ・学校統合問題
- (2) 自然への恩返し
  - ・自然を守り育てるための方策
- (3) さらなる活用法
  - ・「みんなの森」「希望の滝公園」のさらなる有効利用

# 観音の森と清水の恵み

愛媛県愛南町立僧都小学校

6年 森岡 静空・宮本 連翠 5年 佐藤 恵

## 1 はじめに

愛媛県の南西端。高知県との県境に位置する南宇和郡愛南町。平成16年に5つの町村が合併し誕生しました。町内に海の地域、山の地域を抱え、海、山の幸溢れる町です。特に、海産物（タイ、ハマチ、フグ、カキ）は有名です。



僧都小学校 創立134年の歴史（全校児童14名）

### ◎校訓

なかよく 正しく ねばり強く

### ◎学校林

平成の初め頃、僧都小中学校によって植林。  
中学校は現在統合された。



清水の水（山出観音水）  
山出の山の岩の隙間から流れ出る湧き水  
神棚は地域の人々に守られている。

## 2 僧都小学校の活動

### (1) あまごの放流

山出川上流では、豊富な清水を使ってあまごの養殖が行われています。

○私たちに身近な僧都川が、あまごが住めるようなきれいな川であり続けて欲しいという思いを込めて放流しています。



※あまご:水温の低い溪流地帯に棲む。警戒心がとても強いそうです。

あまごの養殖場

## (2) 米作り

○田植え:地域の方に、学校近くの田んぼを借り、昔ながらの道具も使い田植えをしています。



○稲刈り:稲刈りを行った後、収穫した稲を干し、米の水分量を量りました。その後もみすりや脱穀を行います。



○もちつきパーティー  
収穫したお米で、保護者、  
地域の方を招いて  
もちつきパーティー。



○棚田

おいしいお米の取れる条件

1.よい土 2.よい水 3.よい地形

平地の少ない僧都地区では、  
先人たちが棚田を作り、  
米作りを行ってきました。



街道灯籠祭りでライトアップ  
された棚田



---

## 3 おわりに

この学習を通して、僧都のおいしい水を使って米作りをしよう  
とした、先人たちの努力を棚田の風景に見ました。また、あまご  
がいるきれいな川で有り続けて欲しいという願いを知りました。  
私たちは、生活と結びつきたきれいな水、川そして、それを育む  
森を守っていかねばと思います。

# 私たちの「遊々の森」活動

高知県香美市立大栃小学校

6年 高橋 若菜・森田 みゆき 5年 山下 真里菜

## 1 はじめに

### 【物部町】

高知県中東部、香美市、物部川上流、面積約290km<sup>2</sup>、林野率96%の山間地域です。このうち70%がスギやヒノキ、ケヤキやクヌギなどの人工林です。ユズやギンナンの栽培が盛んで、ユズ玉の生産高は日本一を誇っています。町内には県内最高峰の「三嶺」があり、この麓に私たちの「遊々の森」があります。また、学校の近くには「永瀬ダム」があり、川を通して香長平野や太平洋へとつながっています。

### 【大栃小学校】

明治5年創立。児童数60名。学級数7。



三嶺



大栃小学校

## 2 「遊々の森」活動

### (1) 「遊々の森」の歴史

- ① 平成15年4月16日。高知中部森林管理署と協定締結。ヒカリ石国有林内12.44ha
- 同年10月、同管理署・物部村教育委員会・高知県森と緑の会の協力を得て、児童の願い「ツリーハウス・ロープわたり」が完成。
- 平成16年、野生生物・観察コース完成。
- ② 平成20年4月1日締結更新(平成25年3月31日まで)

### (2) これまでの主な活動

- ① 現地学習:
  - 「遊々の森ウォーキング(植物・キノコ等の観察会)」「木の名前を覚えよう」「巣箱かけ」「植樹・間伐体験」「ツリーハウス・ロープ渡り体験」「野外炊飯(竹飯)」「森の昔遊び」「ネイチャーゲーム」「木工教室(ミニテーブル)」
- ② 森とつながる学習:
  - 「森林学習(森林のはたらき、森と川と海のつながり)」「海辺の学校との山里体験交流学习」「炭焼き」「シイタケの種駒打ち」「茶つみ・製茶」「樹木名板の取り付け(校内)」「木工教室(プランター、巣箱、壁かけ)」「高知中部森林管理署職場見学」

### (3) 今年の活動

- ① 現地学習:「巣箱かけ」「遊々の森ウォーキング(木の名前を確認しよう)」
- ② 森とつながる学習:「森林教室(森林のはたらき)」「森林のはたらきと水の浄化実験」「樹木あてクイズ」「木工教室(巣箱、フクロウの壁かけ)」「シイタケの種駒打ち・栽培」

### (4) 体験学習の紹介

#### 【ツリーハウス・ロープ渡り体験】

ツリーハウスは、そのほとんどが木やロープできていて、自然でとてもきれいだと思います。ロープ渡りやブランコをしたり、下にある川での遊びも楽しみました。



「遊々の森」



「ツリーハウスで自然を楽しむ」



「大人気のロープ渡り」



### 【巣箱かけ】

木工教室でつくった巣箱を、今年も秋に「遊々の森」へかけに行きます。古い巣箱からは、毎年、雛が巣立っていきます。私たちが鳥を呼び込んで、楽しい山にしていきたいです。鳥がたくさんいる山は、とてもいい山だと思います。



「小鳥が入ってくれるといいな」

### 【間伐体験】

間伐とは、たくさん生えている木の中から良くない木を切ることです。こうすることで、良い木が元気に育ちます。最近、手入れをされていない山が増えています。やってみて、大変だったけれど、やる人がいなくなると山は荒れてしまいます。今後は、地域の植林・間伐作業などに、みんなで誘い合って参加したいと思います。



「間伐体験：ノコギリで慎重に」

### 【シイタケの種駒打ち】

クヌギの木に、一人ひとりがドリルで穴を開けることから始めました。菌が伸びやすいように縦に穴を開けること、木に雑菌が入るとシイタケ菌がだめになってしまうこと、半年ごとに180°回転させ、年に一回『天地変え』といって木を反対にするなどよいことを教えていただき、栽培の工夫や苦勞を知りました。



「シイタケが生えるのが楽しみです」

### 【森林の働きと水の浄化実験】

実験してみると、木の多い所は、水を通し、土砂崩れも防ぐこと、草の生えているところは、水を通すけれども、量は少ないこと、はだかの土は、水を通さず、土砂崩れが起きやすいことがわかりました。

また、ふかふかの山の土と運動場の土に、じょうろで水をかける実験もしました。山の土の方はすぐに透明な水が出てきましたが、運動場の土は何分もかかりました。やっと水が出てきたと思ったら、泥水が土といっしょに出てきました。はだか山で、こんなことが起こったら大変だと思いました。



「森林のはたらきを実感」

### 【樹木あてクイズ】

スギやヒノキの葉はすぐわかりましたが、名前のわからない物がたくさんありました。私たちの町や学校のシンボル『トチノキ』の葉は、顔ぐらい大きいからびっくりしました。



「この木なんの木？葉はシブのにおいがするよ」



「でっかいぞ！栃の木の子」

## 3 おわりに

「遊々の森」を中心にした森林学習や体験を通して、私たちは、たくさんの人と出会い、興味あるお話や専門的なお話、考えや思いを聞くことができました。森林の大切さを実感し、私たちが暮らす物部の大切な産業である林業に関心をもつことができました。

今、私たちは、これらの学習をもとにして、地域での森林環境に関する行事に参加しています。「鹿の食害が広がっている三嶺で、その実態を調査し防護ネットを張る取組」や「高知子ども森林インストラクター養成講座」などに参加しています。学校外でも視野を広げながら、かけがえのない自然や森林を守り、引き継ぐ力を身につけていきたいと思っています。

# 「ゆめの森」の体験活動

高知県幡多郡黒潮町立南郷小学校  
4年 金子 麻穂・浪岡 美佑

## 1 はじめに

### 〔黒潮町の紹介〕

わたしたちの住んでいる高知県幡多郡黒潮町は、高知県の西南地域にあり、最後の清流として知られている四万十市と四万十町と隣接しています。平成18年3月に旧佐賀町と旧大方町の2つが合併し、新しい町、黒潮町としての歴史を歩み始めました。町の東側は土佐湾に面しており、沖合を流れる黒潮の恩恵を受けた気候を利用してのラッキョウ、花卉、葉たばこなどの農業が盛んな町です。また、「土佐カツオー本釣り漁業」の町としても知られています。

### 〔学校の紹介〕

- 学校は、明治8年に創立され、130年余りの歴史があります。
- 児童数48名、学級数8(特別支援学級2を含む)
- 校訓「なかよく かしく たくましく」の精神を大切にしながら全校児童が仲良く、助け合い、お互いを磨き合っています。



高知県幡多郡黒潮町



校舎正面

## 2 入野松原―「ゆめの森」

学校の前には海岸沿いに砂浜が広がっており、その延長線には名勝『入野松原』として黒潮町が誇れる松林があります。この松林は、昭和3年に当時の内務省より名勝としての指定を受け、今日まで大切に守られ、受け継がれてきています。その一角の松原を今回、私達が「ゆめの森」として活用させていただいています。



学校前に広がる砂浜



学校前の砂浜の延長線にある入野松原

## 3 「ゆめの森」での体験活動

- 平成20年5月22日に四万十森林管理署と協定書を結び、入野松原にある国有林5.6haでのわたしたちの「遊々の森」の体験活動がスタートしました。
- 「遊々の森」として使わせていただくこととなった松林をより親しみやすくするために児童会で話し合って名前を決めました。呼び名は「ゆめの森」となりました。



ゆめの森

## 平成20年度[主な体験活動]

### ① 森林学習とネイチャーゲーム 5/26

- 1年、2年、3年合同活動  
・入野松原の森林の歴史や役割  
・美化活動(ゴミ拾い)  
・ネイチャーゲーム

入野松原での初めての体験学習をしました。入野松原の役割について話を聞いた後、楽しいゲームや活動をして自然と親しむ時間を過ごしました。



### ② 森林学習 6/19

4年:入野松原の役割

黒潮町内に在住の小橋容之さんを講師に招き、入野松原が大切に守られてきた歴史的な背景やその役割について話を聞くことができました。◎入野松原の役割(防潮林、防砂林、防風林)◎小橋容之さん[入野松原保存会の会長]



平成21年7月9日撮影

### ③ 林業体験 7/14

6年:植林

入野松原も松食い虫によって被害を受けていました。松食い虫の被害を受けた松を伐採した後に新たに松の苗木を植える活動を行いました。しっかりと根付くか心配でしたが、わたしたちの願いが叶い、しっかりと育ってきています。植樹した苗木が早く大きく育ち、松林としての役割を果たして欲しいと思っています。



### ④ ネイチャーゲーム 11/27

1年、2年、3年合同活動:美化活動(ゴミ拾い)、ビンゴゲーム

松林の中のゴミ拾いを行い、その後、松林の中にある葉っぱなどを使ってのビンゴゲームを楽しみました。5月に活動した時と松林の様子が変わってきていて、自然の変化も楽しむことができました。



### ⑤ 秘密基地づくり 3/11

1年、2年、3年合同活動:美化活動

活動の時は、いつも美化活動から始まります。ゴミ拾いも大切な体験学習です。その後は、秘密基地づくりでした。竹を使って骨組みを作り、その上に松の葉を乗せ、基地の完成をめざしました。みんなで力を出し合って完成を喜び合いました。3回の体験活動の中でも印象深いものとなりました。



## 4 おわりに

身近にある入野松原ではあるが、子どもたちが松原を意識して見たり、その中で活動するという事は日常生活の中ではない。今回、「遊々の森」の企画が持ち込まれ、決して多くの体験活動ができたわけではないが、体験を通して、子どもたちの入野松原の見方が大きく変わってきたように思われる。体験こそ子どもたちの学びや気づきを確実に培ってくれるのだと改めて感じたことでした。これからも「ゆめの森」の体験活動に取り組み、次世代へとつながる子どもたちに育てていきたいと考えています。

# 北須磨「うら山」活動

兵庫県神戸市立北須磨小学校  
6年 下川 紗波・藤本 瑛実・藤本 未来

## 1 はじめに

北須磨小学校は、神戸市の南部に位置し、南に須磨海岸、北に六甲山系の須磨アルプス、また校区内には千年以上の歴史がある須磨寺や離宮公園があり、今年創立50周年を迎えます。もともと、武庫離宮（現在の離宮公園）の一部であった校地内には、クスノキ、ヤマモモ、クスギなどの大木が今も多く見られ、自然がいっぱいです。全校児童361名が、学校の中で自慢できるものが、4つあります。樹齢300年以上の「大きなクスノキ」、それから神戸市内では珍しい、「円形校舎」、ヤギのメーちゃんをはじめとする「たくさんの動物たち」。そして、今回紹介する「学校林」（通称：うら山）です。私たちは動植物が大好きで、毎朝早くから動植物の世話をしています。



## 2 学校林での活動

### (1) うら山親子ハイキング オリエンテーリング

4月の第4土曜日に毎年親子ふれあい行事を行っています。2～4年生が、親子でグループを作って30分程度のコースを1周します。5年前にオイスカの方々が、歩きやすいように木の階段などを作ってくれたおかげで、安全に楽しく活動できています。

## (2) 飯ごうすいさん

4年生が、10月ごろ、うら山のえん堤で親子で飯ごうすいさんを行います。落ち葉や木切れを見つけてきて、それぞれのグループでかまどを作って飯ごうでご飯を炊きます。初めて炊く人がほとんどなのですが、みんな大成功です。自分で炊いたご飯はとてもおいしく、キャンプをしている気分になります。

## (3) 自然観察

理科や生活科の時間を使って、どの学年もネイチャーゲームなどを楽しんで自然観察を行います。カクレミノやヤツデなどの面白い形をした葉をもつ植物やアラカシやクヌギなど秋になるとたくさんのドングリがとれる木があるので、観察はとても楽しいです。また、だれもが大好きなカブトムシやクワガタムシなどのいろいろな昆虫もたくさん生息しています。よく見ると斜めになった花こう岩の地層なども見られます。このように、この裏山には、学習の材料がたくさんあるのです。また、環境体験学習の一環としてうら山の木々にネームプレートをつける活動をしたこともありました。

## (4) 学級活動の時間は・・・

どのクラスも学級活動の時間に、うら山に行くのがとても楽しみです。運動場ではできない、かくれんぼや缶けりなどみんなで楽しい遊びができるからです。だから、時にはクラスでうら山の取り合いになることもあるほどです。ターザンロープは、うら山一番人気の遊びです。

## (5) 北須磨探検クラブ(クラブ活動)

もうひとつ忘れてはならないのが、北須磨探検クラブです。主な活動場所はうら山です。焚き火をして、焼きいもをしたり、基地作りや木切れやドングリを使った作品作りをしたりと人気のあるクラブのひとつです。

## (6) その他

### ○全校描画会

一番の思い出の場所を描こうとたくさんの人たちが、うら山を選びます。うら山は、夏でもとっても涼しく、みんなの憩いの場です。

### ○カブトムシの家

北須磨自然観察クラブが中心となってうら山にクヌギの枯れ木や落ち葉を集めてビオトープを作りました。毎年たくさんのカブトムシが成虫になっているようです。

### ○しいたけ園

しいたけ作りの環境としても適しています。

このように、北須磨小学校では、勉強に、遊びに、親子ふれあいに、うら山は、無くてはならない存在です。この発表のために調べてみて、先生方が階段を修理したり、危険なところにはロープを張ったりしてくれていることを知りました。これからも、「生き物を持ち帰ったり持ち込んだりしない」という北須磨のルールを守り、みんなの大好きなうら山を大事にしながら、楽しい学校生活を送っていきたいです。

# 自然がいっぱい!!

## 私たちの「遊々の森(ふながた薬師の森)」活動

山形県最上郡舟形町立堀内小学校

6年 斉藤 隼人・富樫 慎吾・東海林 佑哉・平村 智咲乃

### 1 はじめに

#### (1) 私たちの町 舟形

山形県の東北部、最上郡の南端部に位置し、人口6,414人の町である。『若あゆと古代ロマンの里ふながた』がキャッチフレーズ。



縄文ヴィーナス  
「西ノ前遺跡」から平成4年に出土した、高さ45cmの土偶。縄文時代中期のもので、「縄文の女神」とも呼ばれている。

#### (2) 私たちの学校

明治6年に開校。児童数27名3クラス。児童会のスローガン「いい顔・いい声・いい仲間」



鳥海山と本校

### 2 「ふながた薬師の森」について

- 平成20年7月31日、山形森林管理署最上支署と舟形教育委員会が協定を締結。
- 堀内地区の葉山国有林約2ha。平成21年「遊々の森」を『ふながた薬師の森』と命名。
- 主な活動は毎年5月下旬に行われる「ふながた薬師の森」へのブナ林遠足。

#### ○ブナ林遠足【ねらい】

- ①葉山のブナ林を歩き、春の草木、昆虫、その他自然の息吹を味わう。
- ②自然のすばらしさを知り、地域の環境を守ろうとする心を育む。
- ③縦割り班活動や保護者、地域の方々と一緒に行動することにより、異学年、異年齢交流を図る。



保護者・地域のみなさんです。



みんなで記念撮影



講師の先生が、植生の違いについて説明してくれました。



年によっては、5月でもたくさんの雪が残っています。



マザーツリー  
「ふながた薬師の森」のシンボリック存在。その存在感は見る者を圧倒します。ブナ林遠足の終着地です。



自分でとった笹竹の子。このあと竹の子汁にして食べます。



ブナ林の中での読み聞かせは最高です。



とてもおいしい自然の水を汲むことができます。

